

ボランティアポイント制度の導入は

今後前向きに検討

問 高齢化が急速に進む社会にあって、元気な高齢者に社会貢献活動を促し、健康寿命を延ばす取り組みとして、ボランティア活動でポイントため商品券等に交換でき、介護保険料の負担が実質的に軽減されるボランティアポイント制

度があるが導入の考えは。
町長 平成19年9月、東京都稲城市で、昨年12月現在、栃木県内では、小山市、日光市、また宇都宮市では、今年度導入予定になっており、全国でも75市町村が実施している。平成28年度にはマイナंबर制が導入さ

れる。そこでポイント制度をマイナंबरに登録することも出来ることから積極的に前向きに考えていく。
問 どのようなシステムで進めて行くのか。
町長 詳細については、これから検討していく。

婚活サポーター事業の取り組みは

スキルアップセミナーの充実

問 少子化が進む中、結婚しない若者が増えていく。結婚サポーター事業に関して、出会いの場のイベント現状は。
生涯学習課長 婚活イベン

ト等、とちぎ未来クラブのホームページなど通じ情報を発信し、那須町出会い応援事業として、セミナー、交流会を開催した。内容として、女性の気持ち、女性との会話術、ファッション、アドバイス、女性のエスコート術、マナーを学んだ。那須を会場にした交流会では男性12名女性9名が参加し、5組のカップルが成立した。また平成24年度、参加対象者のアンケートで

は1カップルがゴールインしていた。
問 今後の取り組みは。
生涯学習課長 町スキルアップセミナーの充実を図っていく。
問 矢板市では、結婚サポーターが中心になり登録制度を行っているが、町の考えは。
生涯学習課長 先進的な事例として一度視察して研究していきたい。



松中キミエ議員

愛を語り合う恋人の聖地

